



カメムシ発生注意!!

雑草地において、斑点米の要因となる
カメムシ類の生息密度が高いです。

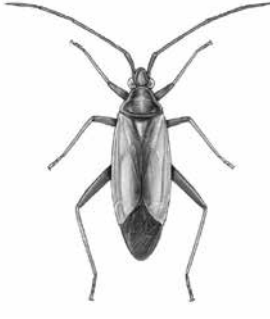
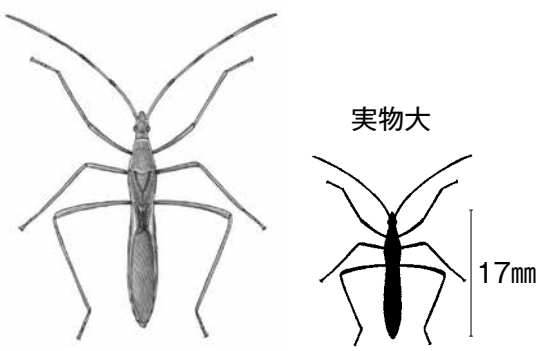
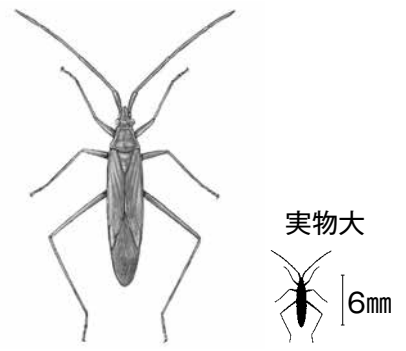
うまい・きれい かほく米づくり運動では10の技術の実践を推進しています。確実に実践しましょう。

推進技術		目標	チェック
1～7	1. 播種量（うす播きの励行） 2. 育苗日数（健苗の育成） 3. 植付本数（細植の励行） 4. 栽植密度（優良茎の確保） 5. 適正な施肥（栄養凋落防止と登熟向上） 6. 田植え時期（早植えの防止） 7. 中干し・溝切り（遅発分げつの抑制）		
8	除草・防除 (畦畔等除草とカメムシ防除の徹底)	・ 7月上旬までの追加除草 ・ 水稻の生育ステージにあわせた適期防除の実施	
9	水管理 (飽水管理の徹底)	・ 中干し後から出穂までの約1か月（コシヒカリ）の飽水管理 ・ 出穂から刈取り直前までの1か月以上の飽水管理	
10	刈取時期 (適期刈取りの励行)	・ 籾の黄化程度に応じた刈取り	

今月のポイント① カメムシ対策：畦畔や農道の除草と仕上げ防除の徹底

【斑点米の原因となるカメムシ類】

近年、飛翔性のクモヘリカメムシが県内でも越冬しています。また、その他の飛翔性斑点米カメムシ類についても平年より多くなることが予想されます。
実際にこのようなカメムシが発生しています。

アカスジカスミカメ	クモヘリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ
		

【カメムシ防除の鉄則は、①に『適時の除草』、②に『適期防除』】

～①まずは、畦畔・農道の除草を～

畦畔や農道などの水田周辺の雑草地は、斑点米カメムシ類の生息地であり、繁殖地です。
畦畔・農道の除草を7月上旬までに行い、カメムシ類の発生源をなくしましょう。

～②次に、出穂後の適期防除を～

本田カメムシ防除は、水稻の出穂7～10日後と14～17日後の薬剤防除を徹底してください。

カメムシによる斑点米で等級落ちが確認されています!!

斑点米の防止は除草と防除の合わせ技!

農薬は使用基準を守り、農薬が飛散しないよう注意してください！

A stylized illustration of a fly, shown from a top-down perspective. The fly has a grey body with a darker grey stripe running down its back. It has six legs, two long antennae, and two small eyes. The fly is positioned in the center of the page, with its legs spread out.

月		7月																															8月															
日	曜日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日				
生育ステージと防除	ゆめみづほ										1回目 ビームトレモンセン 粉剤DL 3~4kg/10a 出穂3~1日前		出穂期											2回目 ビームスタークル 粉剤5DL 3~4kg/10a 出穂7~10日後						3回目 ダントツ 粉剤DL 3~4kg/10a 出穂14~17日後																		
	コシヒカリ	①イナゴ対策																		1回目 ビームトレモンセン 粉剤DL 3~4kg/10a 出穂3~1日前		出穂期						2回目 ビームスタークル 粉剤5DL 3~4kg/10a 出穂7~10日後						3回目 ダントツ 粉剤DL 3~4kg/10a 出穂14~17日後														

- | 月 | | 7月 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 8月 | | | | | | | | | | | |
|-----------|-------|----|---|---------------------------------------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---------------------------------------|----|----|----|-----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|---|----|----|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|
| 日 | 曜 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 曜 | 日 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 |
| 生育ステージと防除 | ゆめみづほ | | | イモチエーススタークル粒剤
3kg/10a
出穂14～10日前 | | | | | | | | | | | | | | 出穂期 | キラップ粒剤
3kg/10a
出穂直後
※イモチエーススタークル粒剤を散布した場合は不要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | コシヒカリ | | | | | | | | | | | | | イモチエーススタークル粒剤
3kg/10a
出穂14～10日前 | | | | | | | | | | | | | | 出穂期 | キラップ粒剤
3kg/10a
出穂直後
※イモチエーススタークル粒剤を散布した場合は不要 | | | | | | | | | | | | | | | |

収穫直前まで
たっぷり飽水管理を
おこなう。

乳白粒防止対策Ⅱ 3、4日おきの通水！ 日中の湛水はしない！

今月のポイント④
 ゆめみづほの穂肥

目指そう!ゆめみづほの600kgどり
 基肥一発肥料への追加穂肥の施用

近年の登熟期の高温による栄養凋落防止のため、追加穂肥の施用で登熟を向上させましょう。

葉色	施用時期	肥 料 名	施 用 量
5.0以下 の場合	7月9～11日 (出穂1週間前～走り穂が出る頃まで)	BB有機入りいしかわライト 550 (15- 5-10)	7～10kg /10a

- ※葉色が濃い圃場は施用しない。(ゆめみづほで葉色板5より濃い場合)
- ※玄米タンパク質含有率が高まるので、**出穂期以降は絶対に施用しないこと。**
- ★穂肥の時期が早すぎたり施用量が多すぎると籾数が過剰になり、未熟粒の発生や倒伏の原因となりますので、必ず適期に適量を施用してください。

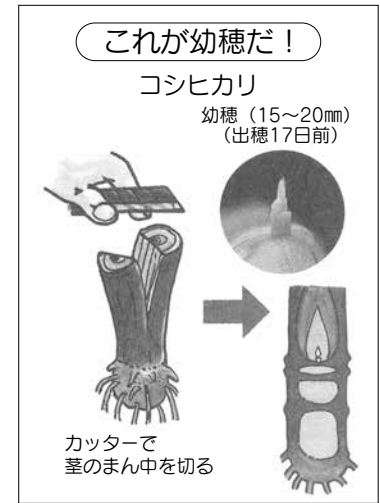
今月のポイント⑤
 コシヒカリの穂肥（分施体系）
 営農の手引き40、41ページも参照ください。

コシヒカリの生育状況（管内生育観測田2か所平均、6月23日調査）

草丈（cm）			茎数（本／㎡）			葉数		
本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
49.2	58.2	57.8	434	679	482	10.4	10.4	10.1

- 草丈：前年及び平年より短い
- 茎数：前年及び平年より少ない
- 葉数：前年並み平年よりやや多い

- 茎数が多いことから、7月10日頃まで中干しを継続しましょう。
- コシヒカ리의出穂予想は、7月27～31日頃が見込まれますが、今後の気温が高く推移すると、早まる可能性があります。



分施体系コシヒカリの穂肥
 ⇒穂肥の1回目は幼穂長15～20ミリを確認して施用してください。

	裸地のはっきり見えるほ場（葉色 3.5）		裸地の見えにくいほ場（葉色 3.5 ～ 4.0）	
	1回目 BB有機入り いしかわライト550 13kg/10a	2回目 BB有機入り いしかわライト550 13kg/10a	1回目 BB有機入り いしかわライト550 7 kg/10a	2回目 BB有機入り いしかわライト550 13kg/10a
	幼穂長 15～20ミリ	穂肥1回目の1週間後	幼穂長 15～20ミリ	穂肥1回目の1週間後
平坦	7月9日～11日	7月16日～18日	7月9日～11日	7月16日～18日
山間	7月11日～13日	7月18日～20日	7月11日～13日	7月18日～20日

- ※裸地が見えず、葉色が濃い場合は1回目は施用せず、2回目の時期にBB有機入り いしかわライト550 13kg/10aを散布してください。
- ⇒収量や品質の低下につながるので、2回目の穂肥は省かないでください。

〈幼穂長と出穂前日数との関係〉

幼穂長（ミリ）	出穂前日数	穂肥施用の指定日
1～2	－ 23 日	6日後
3～4	－ 20 日	3日後
15～20	－ 17 日	基準日

今月のポイント⑥ コシヒカリの穂肥（一発体系）

昨年、飽水管理を徹底したものの乳白粒が多くなったほ場では、窒素不足による稲体の凋落が考えられます。異常高温下で過度に葉色が低下したほ場では、出穂7日前に上乘せ追肥を行い登熟期間の稲体の健全を図りましょう。

※必ず葉色を確認し、葉色3.5以下の場合のみ穂肥を実施しましょう。営農の手引きの裏表紙に葉色見本がありますので、参考にしてください。

葉色	施用時期	肥料名	施用量
3.5以下の場合	7/19～21	B B有機入りいしかわライト 550 (15- 5-10)	7 ～ 10kg /10a

※施用時期については出穂期を7/27頃を予定しています。

「かほく米トータルコスト低減運動」の実施中

目的：1 俵あたりにかかる生産コストを引き下げ、所得向上を目指すものであります。
目標総生産費を目指し、皆さんに実践のご提案をするものです。

No		項目	具体的なコスト低減の要因	概算低減率
労働費低減	1	流し込み追肥・導入	機械散布や手散布が不要で施肥時間の大幅短縮	追肥作業効率80%
	2	畦畔管理時間の削減	除草剤、抑草剤を組み合わせた畦畔管理による作業時間の削減	畦畔除草作業効率30%
	3	カメムシ防除タイミングの最適化	発生予察に基づく臨機・適期防除、畦畔除草の徹底	防除作業効率10%
生産性向上		水管理の徹底	生育状況と生育環境に適した水管理の徹底による品質の向上	品質向上

コシヒカリ現地講習会日程

月日	曜	時間	集合場所
7月11日	金	午後 5時00分～	西部育苗センター
			JA高松集出荷場（夏栗）
			津幡東支店前
			J A 配送センター

内灘地区ゆめみづほ現地講習会日程

月日	曜	時間	集合場所
7月3日	木	午後 6時00分～	宮坂ふれあい広場

※上記、掲載にて生産者案内とします